

【一学期・始業式の式辞】

R8. 4. 8 午前

2年生、3年生の皆さん、進級おめでとうございます。今年は、雪も少なく、桜も早く咲きましたね。校庭の桜も満開となりました。

本日、山形市立第九中学校の令和8年度がスタートしました。午後からは新1年生155名が入学してきます。1年生のこともよろしく願います。

令和8年度の学校生活のスタートにあたり、私からみなさんがさらに成長するために、この1年間取り組んでほしいことを2つ話します。

1つ目はその場その場で自分ができることは何かを「考えて、行動する」ことです。友達がやってくれるからとか、先生や親に任せっぱなしにして自分は何もしないのでは、何かを学ぶことはできません。皆さんには、将来、他者のために自分ならば何ができるかを考え、行動できる人になってほしいのです。何かをただ待っていては何も起きません。どんな人にでも、誰かのためにできることはあるはずです。ぜひ、小さなことからでもよいので、人のために行動してみてください。

2つ目は「進んで学ぶ」です。学校は勉強をするところです。自分の可能性を広げるためにも勉強は大事なことです。なりたい自分になるために、学ぶことは大事なことです。ぜひ、授業を大事にできる九中生であってください。面白い授業になるよう、先生方も努力します。

3つ目は「気づく」ということです。自分の周りのいろいろなことに気づくことから始めましょう。家族の想いや先生の願い、自分のこと、社会の課題や働く人の想い、自然現象での不思議なこと、物ごとに興味関心をもち、「おやっ」「どうして」「なぜ」と気づく感性を磨いてほしいと思います。人として大事な力になります。

もちろん、4つの合い言葉も忘れないで過ごしてください。

新入生155名、2年生163名、3年生158名。全校生徒476名。この全員の力を結集して物事に全力で取り組み、一人ひとりが大きく成長していく1年になることを心から願っています。

以上、式辞とします。

では、昨年度の修了式で中途半端になってしまった実験の続きをします。